

令和4年度 志摩市下水道事業審議会 議事録

日 時：令和4年10月13日（木） 午前9時30分～11時14分

場 所：市役所403・404会議室

出席委員：13名

事務局：上下水道部長、下水道課長、工務係長、業務係長、業務係

事務局 開会

副市長 挨拶、退席

委員 自己紹介

事務局 自己紹介

◆議事1 会長、副会長選任

事務局案として、会長にY様、副会長にM様を提案し、了承される。

会長あいさつ、副会長あいさつ

◆議事2 下水道事業の現状について

課長による説明 【資料1】

質疑

会 長 難しいかも知れないが排水基準を緩和することで経費がどれくらい軽減されるのか実験してみてもどうか？漁業関係者の方はどのようにお考えか？

M委員 瀬戸内海でリン等を緩和して、海が戻った話も聞いたことある。的矢でカキ養殖をしているがここ数年のへい死や青さのりも成績が悪いので難しいかも知れないが少しでも希望が見えるなら検討してほしい。

Y委員 的矢湾の中のおおかた浦という所は、下水道整備前は合成洗剤の泡が沢山浮いていたが、整備後は無くなったという事がある。

部 長 以前は排水基準が高かったが、平成26年に改定され緩和された。排水によって一方の海産物は良くなり、一方の海産物に悪影響を及ぼさないよう漁業者の意見も聞きながら、考えなければならない。また、高度処理をしている事で交付税を受けており、止めることで経営が悪化していく事も考えられるため、慎重に検討していきたい。頂いた意見は環境課にも共有させていただく。

課 長 有明海や瀬戸内海で夏は窒素・リンの排出量を制限し、冬は窒素・リンの排出量を緩和する季節別管理運転を試験的に導入したところ、のりの色づきが良くなったり、アサリの漁獲量が増えたという結果が報告されている。三重県でも令和6年度から流域下水道で季節別管理運転を予定している。市でも環境・ごみ対策課や水産課とも打合せしながら、薬品の量を調整して窒素・リンの量を調整できるか考えていきたい。

○委員 接続率に差があるが、低い所にはどのような事情があり、考慮すること、改善することはあるのか？

課 長 各地区で様々な事情もあるが、高齢化や後継者の問題、浄化槽の補助金制度や各自治体（旧町）での取り組みの違いもあった。現在聞き取り調査を実施しており、結果を分析し今後の施策に活用していきたい。

会 長 船越処理区では供用を開始した時にバブル景気が終わってしまい、接続を考えていた人達も接続できなくなった。それから南海トラフ地震も想定される中、処理場がどうなるか分からない事も大きいとその辺の所はどういう風に考えておられるのか？

課 長 地震発生時の津波等による浸水箇所、処理場やマンホールポンプ場の維持管理にかかる影響範囲等シミュレーションはしている。

A委員 塩屋地区は当時反対があった。現在、空き家も増えている。経費の問題もあり、高齢化も進んでいく状況の中でどうなのかという思いもある。

副会長 下水道の目的は自然環境を守っていこうという事であるが、地球温暖化等色々な要素で今に至っている。下水道だけでなくまだ処理されていない水も多いので、英虞湾の水質も含めて総合的に考えていかないといけない。

◆議事3 志摩市下水道事業経営戦略の改定（案）について
業務係長による説明 【資料2】

質疑

Y委員 接続率が低いと、今後補助金が減らされるという事はあるのか？

係 長 接続率についてはガイドラインでは言及されていないが、安易に下水道使用料を上げるのではなく接続率を高くしていき使用料収入を増やしていきたいと考えている。

Y委員 料金を上げれば加入率は上げにくくなる。今後国の施策もどうなるか分からないので接続率が高い所も含めて向上を考えた方がいいのではないかと。

O委員 志摩市は海が特に大事な所だし、湾の中の汚れが問題化されているから水質を綺麗にするという事で働きかけていくことが大事だと思う。

課長 志摩市と同じような課題を抱えている市町は全国にもあり、ダウンサイジングに関する補助金等、今後国が検討しているような事も聞いている。接続率も空き家を除いた場合10%程高くなるが、下水道の事業をどのように継続していくのか活用できる制度等がないか確認していきたい。

部長 頂いたご意見は経営戦略を策定していく中で、しっかりと考えていきたい。

T委員 以前、接続補助金制度を実施した時に、加入したいと考える人が増えたので、またこのような制度を検討してほしい。

部長 平成28年度から3年間実施された促進補助金制度の期間中は、実施前と比べ加入数が増加した。今回頂いたご意見や、現在実施している下水道促進業務にて聞き取りしたご意見も参考にしつつ、財源の問題もあるが今後検討していきたい。

会長 私もそうですが、後継ぎがないため20年後には加入数が減少していくと思うがシミュレーションはしているのか？

課長 先程も申しましたが、ダウンサイジングや国の制度を活用しながら考えていきたい。

◆議事4 今後の下水道事業（ハード事業）について
工務係長による説明 【資料3】

質疑

T委員 工事については全額国の補助で出来るのか？

係長 50%が国の補助金、残りは起債で対応したいと考えている。

副会長 以前、神明処理場の敷地内で汚泥処理を検討しているとの事で打診があったが今はどうなっている？

課長 令和4年度に汚泥処理を請け負う新会社が設立された。現在は南張地区の同

会社が所有する施設にて処理を委託している。広域化・共同化の中で神明処理場で汚泥処理が可能かとの協議はあったが実施する予定はない。

- S委員 道路工事する際に、舗装が悪くなっている所も合わせて整備してもらうことはできないのか。
- 係長 下水道課が行う工事の場合、舗装復旧については影響部分までというのが補助金要綱で決まっている。今後、まだ先ではあるが管路工事を下水道課が行う際はそういったことも考慮しながら自治会と相談しながら進めていきたい。
- 会長 建設整備課の所管になるので、自治会からどんどん要望していったらどうか。
- Y委員 工事をやる際は、下水道課と建設整備課で連携してやってもらいたいという要望だと思うので、考えていってもらえれば。
- 部長 来年度、水道工務課も大規模な送水管更新計画があるので、建設整備課にご意見いただいたことをお伝えして、前向きに考えていきたい。
- 課長 マンホール改修工事等は建設整備課に立ち合いを依頼して対応しているので、また何かありましたらご相談ください。
- S委員 立神地区内の送水管も埋設から50年以上が経過しているので、改修工事を早めにしていただきたい。
- 部長 立神地区の送水管については早い時期に改修工事に取り掛かるように予定している。
- 副会長 昔は鵜方浜も青々とした海苔が取れた。今は合併処理浄化槽の整備も進んでいるが合成洗剤が流れてきている。下水道による処理人口は少ないが、合併処理浄化槽も含めて浄化設備をしっかりとやっていくことが大事なのではないか。
- 会長 補助金という話が出ましたけども、SDGsの絡みで言えば合併処理浄化槽にも補助金を出したらどうか。ホテル関係の合併処理浄化槽も規制がきついたので緩和するような方向で考えてやっていただきたい。
- 課長 浄化槽設置整備事業補助金があり、環境・ごみ対策課で対応している。排水基準も見直しが行われているので、また情報提供はしていきたい。

H委員 処理場の運転方法の見直し等で、真珠の養殖の際に有益なプランクトンが繁殖するなら良いが、有害なプランクトンが繁殖する等があると困るのでそういう部分も考えておいてほしい

会 長 事業者の方はそういう心配もあるかと思うので、加味しながら進めて頂けたら。

副会長 処理場は窒素・リンを除去できるが、合併処理浄化槽では窒素・リンは形を変えて排水される。

課 長 処理場から排水される処理水には窒素・リンも排水基準があるので超えないように運転管理を行っている。他地域の処理場運営も参考にしながら考えていきたい。

A委員 現在の下水道区域で供用開始したのはなぜか？

課 長 各町時代に計画が立てられましたが、英虞湾・的矢湾を中心とした環境整備という事で計画されたと聞いている。

会 長 当時の長が下水道に関心を持っていたという事もある。船越では事業者が多く関心があった。

A委員 世代が交代して行って、過去の経緯が分からない住民も多くなっている。

S委員 全国的に見て、小さな湾で全部浄化槽にしている所などは効果が出ているのか？

課 長 現在の所、調査していないので分からない。お話があったことはまた環境・ごみ対策課ともお話させていただく。

Y委員 先程も言いましたが的矢湾の中のおおかた浦では下水道整備前は合成洗剤が流れていたが下水道になってからは水質が良くなって藻が生えてきた。

会 長 志摩町和具で生活排水が流れる川がありますが、簡易浄化をしている。

課 長 建設整備課の所管ですが、志摩町和具・布施田・御座地区で簡易浄化を行っている。

◆議事5 その他

質疑

Y委員 的矢は現在護岸工事を実施しているが地盤沈下が起こり処理場の方に流入していないか？塩分濃度が高いと聞いているが。

課長 毎日流量は計測しており、不明水があれば差があれば不明水も確認できるが今のところそういうことはない。

業務係長から、加入促進業務の聞き取り状況について報告及び報酬の支払いについて説明

S委員 聞き取り調査の結果から、特徴的な声はあったか？

係長 現在までに聞き取りした中から接続していない理由として一番多いのは、接続するための金銭的な余裕がないという回答が多く、他には将来的に空き家になる可能性が高いので接続していないという意見が多かった。また、接続するために求める支援については、補助金による支援を求める声が多数寄せられている。

S委員 普段空き家だけとお盆等にだけ帰省するという家もあるが、未接続ならこの場合も接続の対象に含まれてくると思うが、かなり難しいと思う。

課長 色んな方のご意見を聞き取りさせていただき、また結果を取りまとめて今後の施策の取り組みに活用していきたいと考えている。

Y委員 坂崎・的矢地区の接続率も上げることが出来れば、全体の接続率の底上げに繋がると思うので、また検討いただきたい。

課長 大変ありがとうございます。検討させていただきます。

会長 ほかにご意見が無いようなのでこれを持ちまして閉会とします。
ありがとうございました。